

An illustration of a boat festival. In the foreground, a white boat with a black outline is shown from a side profile, moving through blue water. Two men are on board; one is at the helm, and the other is holding a large, colorful kite. The kite features a red fish, blue waves, and the Japanese characters '大漁' (Daigyo, meaning 'big catch'). Above the boat, several other colorful kites are flying, including one with a large red fish and another with a large blue fish. In the background, more boats are visible, and the sky is light blue with a few white birds flying. The overall style is bold and graphic, with thick black outlines and a limited color palette.

南知多町文化財保存活用地域計画 概要版

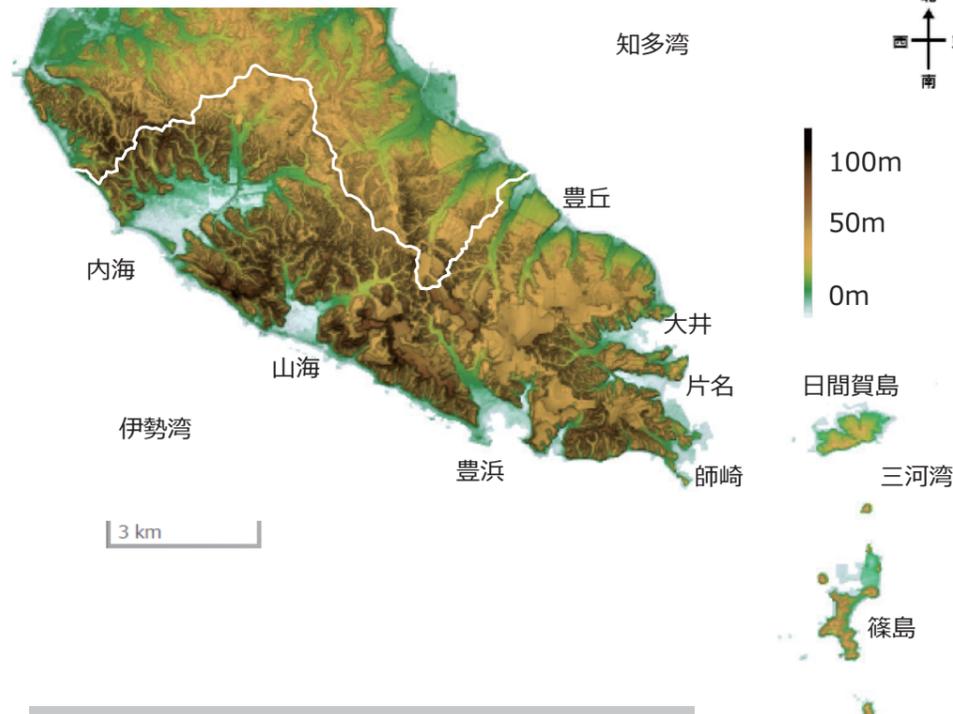
令和5年12月認定 令和6年2月一部改訂
愛知県知多郡南知多町

南知多町文化財保存活用 地域計画 【愛知県】

【計画期間】 令和6～14年度（9年間）

【面積】 38.37km²

【人口】 約1.6万人

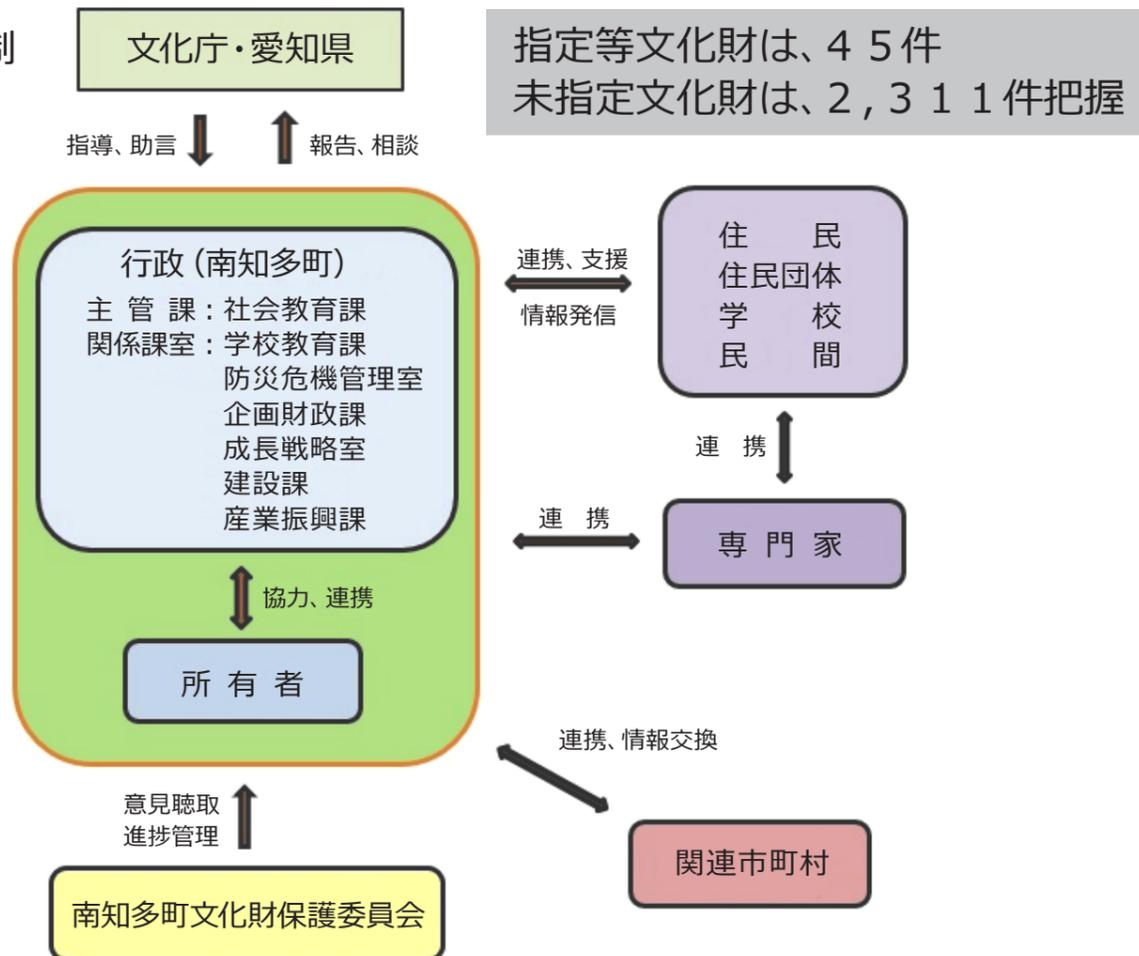


指定等文化財件数一覧

※「—」は該当なし。

種別		国指定	県指定	町指定	国登録	計	
有形文化財	建造物	1	0	0	5	6	
	美術工芸品	絵画	0	0	4	0	4
		彫刻	0	1	7	0	8
		工芸品	1	0	2	0	3
		書跡・典籍	1	1	1	0	3
		古文書	0	0	1	0	1
		考古資料	0	0	2	0	2
		歴史資料	0	0	2	0	2
無形文化財	0	0	0	0	0		
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	2	10	0	12	
	無形の民俗文化財	0	0	2	0	2	
記念物	遺跡	0	0	1	0	1	
	名勝地	0	0	0	0	0	
	動物、植物、地質 鉱物	1	0	0	0	1	
文化的景観	0	—	—	—	0		
伝統的建造物群	0	—	—	—	0		
合計		4	4	32	5	45	

推進体制



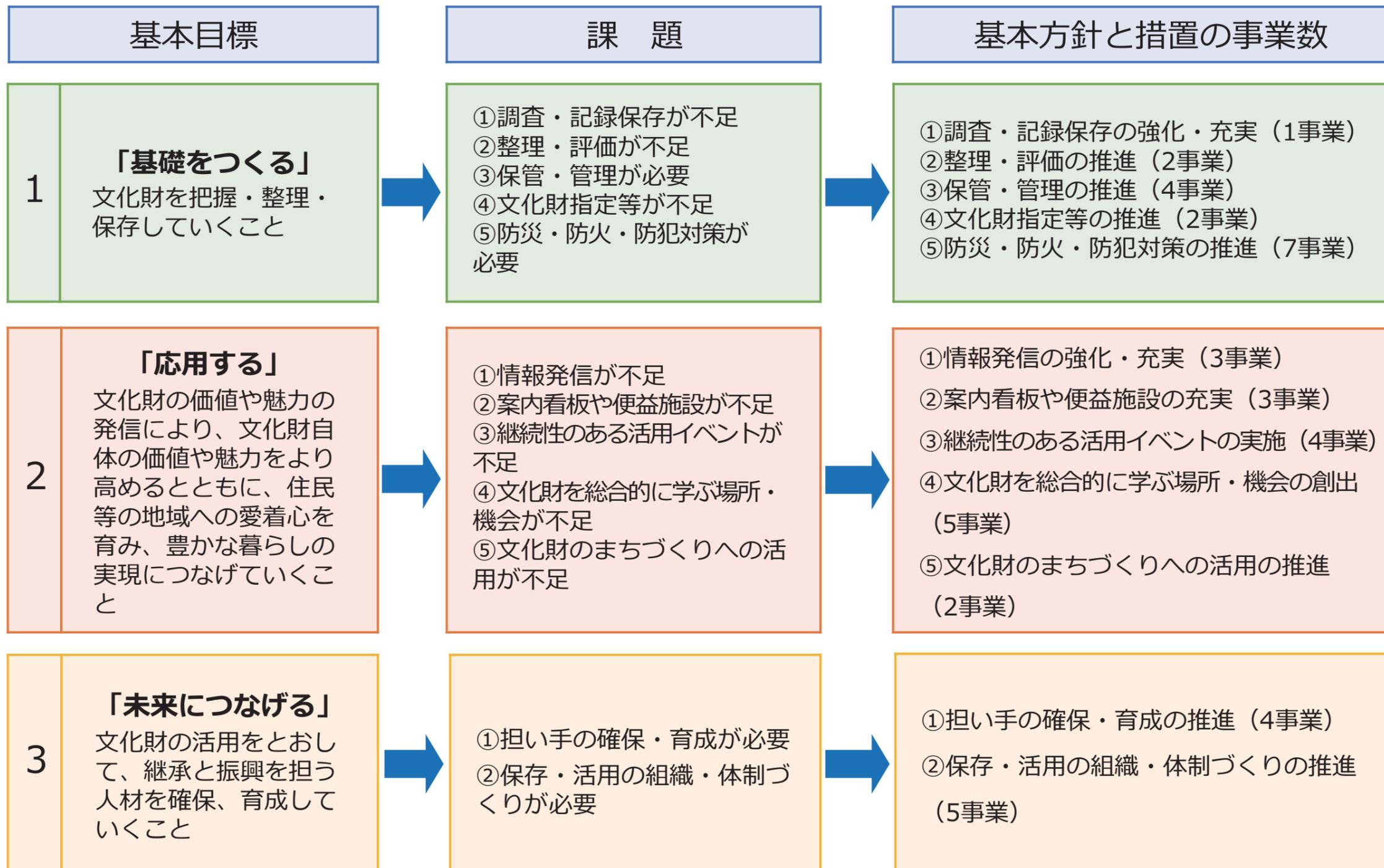
歴史文化の特徴

- 昔から漁業が盛んで今も愛知県一の漁獲高があるまち**
古くから本町域の住民の生業だった漁労活動は、近世に尾張藩船奉行の千賀氏の保護・振興策によって大きく発展し、漁業は、本町域の主産業として現在に受け継がれている。
- 海運業の繁栄ぶりを感じることができるまち**
本町域では、古くから伊勢湾・三河湾海上交通の要衝という地理的利点を活かして海運業が盛んで、内海地区を中心に船主の家屋や社寺、石造物など、当時の繁栄ぶりを偲ばせる文化財が数多く残されている。
- 海で遊べる名古屋近郊の観光地として発展したまち**
古くから景勝地として知られていた本町域は、近代の観光開発を経て名古屋近郊の観光地として発展し、現在も海がもたらす恵みの中で、日常を忘れて心を癒せる風光明媚な観光地として多くの人々が訪れている。
- 独自の歴史文化がある篠島、日間賀島**
篠島の人にとっては伊勢神宮と深くつながった歴史文化があることが、また、日間賀島の人にとっては将軍家や藩主に御用鯛を献上したという歴史があることが誇りとして今に受け継がれている。
- 海に関係のある信仰、多彩な伝統行事が今なお受け継がれているまち**
本町の伝統行事には地区ごとに様々な形があるが、やはり海に関わる行事が多いことが挙げられ、海に関係した多彩な伝統行事が各地で現在も受け継がれている。

【将来像】 「愛着と誇りをもてる 歴史文化があるまち 南知多」

本町の人々は海を中心に活発に活動してきた。

各地域に受け継がれてきた南知多町の成り立ちや歴史文化を今に 伝える様々な文化財は、本町の大切な宝である。これら、先人が残してくれた貴重な文化財を本町民の共有財産として大切に守り、その価値を理解したり活かしたりしながら未来へ継承していくことで、住民一人一人の地域への愛着と誇りに思う気持ちを高めることにつながり、さらに、第7次南知多町総合計画における将来イメージ「絆・選ばれる理由があるまち」の実現につながるものと考え。



旧内田家住宅（建造物・国指定）



雲版（工芸・町指定）



須佐の鯛まつり（無民・未指定）

主な措置

基本目標1「基礎をつくる」(16事業)



1 調査・記録保存の実施
地域に所在する未調査の文化財や、把握調査後長期間を経た文化財等について調査し、記録保存していく。
■行政、所有者、住民団体、専門家
■R6～14



6 重要文化財「旧内田家住宅」、登録有形文化財「旧内田佐平二家住宅」の継続的な維持管理、修繕
文化財建造物を後世に残していくための維持管理・修繕等の事業を継続して実施していく。
■行政、住民団体、専門家
■R6～14



15 文化財防火等の訓練を通じた防災・防火・防犯意識の呼びかけ
所有者・住民等を対象として、文化財の防災・防犯意識の高揚を図るため、継続的に訓練等を実施する。
■行政、所有者、住民、住民団体
■R6～14

基本目標3「未来につなげる」(9事業)



35 住民団体等との連携による担い手の育成
各地区住民と専門家との連携により、失われる可能性のある伝統行事や伝統文化の記録保存・復元や参加者の減少が目立つ行事支援など、各地区の祭礼・伝統文化が良い形で継承されていくような対策を講じる。
■行政、住民、住民団体、民間、専門家
■R6～14

基本目標2「応用する」(17事業)



17 ホームページ、SNS 等による歴史文化に関する情報発信
広報紙はもちろん、ホームページやSNS、文化財アプリ等で本町の歴史文化の価値や魅力を発信するとともに、住民等に文化財に関する新たな情報提供を呼びかける。
■行政、所有者、住民団体
■R6～14



21 ウォーキングコースの設定、歴史的建造物や所蔵資料の公開等の実施と案内看板の設置
ウォーキングコースの設定や歴史的建造物の公開、所蔵資料の展示など、本町の歴史文化を体験したり身近に感じられるような方策を施す。
■行政、所有者、住民団体、民間、専門家
■R6～14



27 文化財について学んだり体験できる場所・機会の創出
住民や来訪者等が本町の歴史文化を身近に感じられるよう、文化財に触れられる場所や機会を継続的に提供する。
■行政、所有者、住民団体
■R6～14



37 子どもガイド育成事業の推進
小中学生を対象に、町内の文化財を巡る事業を開催し、自分が住む地域への理解を深めるとともに、来訪者等を案内できるガイドを育成する。
■行政、所有者、住民団体、学校、民間、専門家
■R9～14



南知多町文化財保存活用地域計画概要版
令和6年2月

編集 南知多町教育委員会

発行 南知多町

印刷 有限会社 一粒社



令和5年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）